

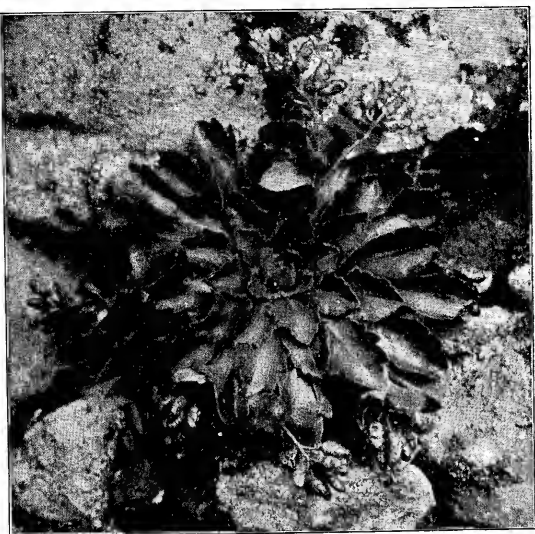
○北海ノ珍艸いしのなづな

北海道帝國大學農學部植物學教室

館 脇

操

珍艸トハ十字花科ノいしのなづな(新稱)ナル *Draba hyperborea* Desv. (= *Alyssum hyperboreum* L.) デアル、此レハ新ニ日本ノ「フロラ」ニ加ハルベキモノデ、

いしのなづな (*Draba hyperborea* Desv.)

1929 年八月千島ラショウ島ニテ撮影

我ガ千島ノ羅處和島ニ於テ昭和四年即チ一九二九年八月ニ始メテ筆者ガ見出シタモノデアル、花ハ黃色デ葉型モ極メテ特殊性ヲ有チ、他ノ同屬ノ種トハ可ナリ其趣ヲ異ニシテキル、和名ハ此草ノ世界ニ於ケル分布ト殆ンド同ジ地點デ幾度カ生死ノ界ニサマヨヒツ、調査旅行サレタ農林省水産局ノ石野敬之技師ヲ紀念シテ茲ニ此ノ名ヲ與ヘタ

本種ハ *Draba* 屬中ノ *Nesodraba* ト云フ Section ニ屬シ亞細亞ノ亞極地カラ北米ノ亞極地、即チ東部シベリア、オホーツク、カムチャツカ、ベーリング海沿岸、アリユートシアン列島、アラスカ、シツカ等ニ分布シ、本邦ニ於テハ千島列島中部以北、二三ノ島嶼ニ分布シ主ニ海岸ノ懸崖ニ自生シ北海ノ潮風ニ吹カレツ、生活シテ居ル

小草本デ全體ニ多少短毛ヲ散布シテ白色ヲ帶ビ糙澁スル、根生葉ハ科生シテ層ナリ倒披針形デ粗齒ガアリ、帶白綠色デ長サ約七八分乃至三寸餘許ヲ算スル、莖生葉ハ時トシテ



紀州新宮蘭ノ澤ノ浮島全景

長橢圓狀倒卵形銳頭デ齒ガアル、主莖ハ短粗、單一デ之ヨリ出ル枝莖ハ一寸五六分許アツテ毛ヲ散布シ傾臥シテ居ル、花ハ短廣ナ總狀ヲナシテ居ル、角ハ橢圓形乃至狹長橢圓形デ扁タク兩端尖ツテ長サハ凡二分餘モアル、中ニ約三顆ノ平扁腎臟狀ノ有緣種子ガ入テ居ル

○紀州新宮蘭ノ澤ノ浮島

和歌山縣新宮高等女學校

太田馬太郎

一、浮島混生植物群落

新宮驛カラ直グ西ヘ數町ニシテ右側ニ蘭澤^{キノヅ}ノ沼澤中ニ浮島ノ森アリ、其地域内ノ土壤ハ常ニ水ヲ含ミ頗ル濕潤ニシテ踊躍スレバ島ノ震動ニ伴ヒ樹木モ亦動搖スルノ奇現象ヲ呈ス、今ヨリ十餘年前迄ハ四周ニ水ヲ繞ラシ徒涉シテ島ニ通ズルヲ得ザリシガ周圍ニ埋立工事ヲ行ヒシタメ土砂沈堆シ其外形ニ變化ヲ及ボシ稍南方ニ移動セルヤノ感アリ、而シテ樹林内ハ外氣ノ溫度ヨリモ三―四度低クシテ水蘚、やまどりぜんまい、てつほしだ、ひとつば、みくりがや、かさすげ、てんだいうやく、やまもも、あかまつ、すぎ等ヲ生ジ一地域内ニ寒暖兩地帶ノ植物混生シ眞ニ分布學上並ニ生態學上頗ル珍稀トスル所ナリ

二、面積

島ノ外形ハ略ボ四角形ヲナシ周圍百六十八間、面積千五百一坪ヲ有ス、島